



2026 年 9 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社アストロスケールホールディングス
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 岡 田 光 信
グ ル ー プ C E O

(コード：186A 東証グロース市場)

問 合 せ 先 取 締 役 副 社 長 執 行 役 員 松 山 宜 弘
グ ル ー プ C F O

(TEL. 03-3626-0085)

日本連結子会社における Isar Aerospace との打上げ契約締結に関するお知らせ

当社の日本連結子会社である株式会社アストロスケール（以下 ASJP）はこの度、商業デブリ除去実証（Commercial Removal of Debris Demonstration、CRD2）フェーズⅡ「ADRAS-J2」のミッションに関して、欧州の宇宙企業 Isar Aerospace SE（以下、Isar Aerospace）との間で打上げ契約を締結したことをお知らせいたします。

1. 本契約の概要

契 約 先 : Isar Aerospace SE

打上げ予定時期 : 2028 年 4 月期（日本政府 2027 年度）

本件は、2026 年 8 月 28 日に ASJP の取締役会にて契約締結に関する決議を行っておりますが、開示許諾は契約締結後に得られるため、決定時点では開示を控えておりました。本日、JAXA より当該許諾を得られたため、速やかに開示いたします。

2. ADRAS-J2 ミッションの概要

ADRAS-J2 ミッションは、宇宙航空研究開発機構（JAXA）が実施する CRD2 のフェーズⅠとしてアストロスケールが 2024 年に実施した ADRAS-J ミッションの後続ミッションです。ADRAS-J ミッションでは世界で初めて、本物のデブリに対して、遠距離からの接近、近距離での撮影、デブリから 50m の距離を維持しながらの周回観測、15m という極近傍までの接近、そして衝突回避機能の有効性の実証等に成功しています。「宇宙のロードサービス」とも呼べるデブリ除去などの軌道上サービスに必要な、「対象物体に安全、精密に接近する」技術の実証に成功したことで、軌道上サービスの実現に向けた大きな一歩となりました。

ADRAS-J2 ミッションでは、ADRAS-J ミッションで接近した大型デブリ（日本のロケット上段：全長約 11m、直径約 4m、重量約 3 トン）に対して接近、捕獲、そして軌道離脱を行うことでその除去を実証します。

3. Isar Aerospace について

Isar Aerospace は欧州の宇宙企業で、小型・中型衛星や衛星コンステレーションを軌道へ輸送する打上げサービスを提供しています。同社が使用する打上げ機は、設計、製造、試験のほぼすべてを社内で一貫して行っています。このアプローチにより、高い柔軟性と品質管理を実現しており、衛星コンステレーションの展開や ADRAS-J2 のようなデブリ除去サービスの技術実証ミッションを含む、多様なミッション要求に対応しています。

Isar Aerospace は 2018 年に設立され、ドイツ・ミュンヘン近郊に本社を置いています。現在は 5 か国に拠点を展開し、400 名を超える従業員を擁しています。また、国際的な投資家からの資金調達を通じて、垂直統合型のアプローチによる打上げ機製造のスケールアップと産業化を推進しています。

また、当社の ADRAS-J2 ミッションの打上げ前にも複数の打上げを予定しており、信頼性もますます高まることが期待されています。

4. 今後の見通し

本件は 2027 年 4 月期通期の連結業績予想の前提に含めているため、業績予想に与える影響はございません。ADRAS-J2 の契約金額の総額 120 億円（税抜き）にも変更はありません。

以上